

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 高齢者の集中治療室における早期リハビリテーション効果検証』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 リハビリテーション科 職位・氏名 理学療法士・下山渉太

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院リハビリテーション科では、ICU において早期リハビリテーションを行い、ICU 退出後の高齢患者様の日常生活能力や生存予後を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果として、集中治療の一環として、ICU でのリハビリテーションが推奨され、ICU 退出後の高齢患者の身体機能や予後の改善につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、(医学部／東邦大学医療センター大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2018年6月1日～2020年5月31日までに当院において、ICUにて治療を行い、早期離床・リハビリテーションを受けた80歳以上の高齢者を対象とします。約80名の対象者数を想定しております。

方法:ICUにおいて早期離床・リハビリテーションを施行した症例のリハビリテーション内容、在院日数、血液データ、自宅退院率、1年生存率を診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。観察期間はICU入室後1年間とさせていただきます。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:病歴、診療の治療歴、身長、体重、血液データ、病前歩行可否

リハビリテーション内容、在院日数、ICU在室日数、1年後生存の有無

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方、代諾者の方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 リハビリテーション部

職位・氏名 理学療法士・下山渉太

電話 03-3468-1251 内線 3060